

福井県市町村職員共済組合では、平成11年度から退職準備型のライフプランセミナーを開催しており、今年で23年目を迎えましたが、毎年多くの共済組合員にご参加いただき、「参加してよかった」との声をいただいています。

この間、保険会社、金融機関、コンサルティング会社などいろいろな会社にセミナーの講師をお願いする一方で、地域社会ライフプラン協会の講師派遣事業も何度か利用させていただいています。

地域社会ライフプラン協会制作のセミナー資料であるライフプランガイドブックは、内容が幅広く充実しており、年金に関する詳細はもちろん、資産の贈与や相続に関する情報など、退職してからも多くの方にご活用いただいていることと思います。

ライフプランセミナーを企画する側として係わってきた私自身も、2022年度末には定年を迎えることになり、これまでまだ先のことと感じながら聞いてきた退職後の生活設計もいよいよ目前にせまってきたという感じです。

私が就職した頃は、「公務員は、退職金と年金が高いよ」と親や先生に聞かされた記憶がありますが、今では退職金は減額され、共済年金は厚生年金に統一されるなど、その頃とはずいぶん様変わりしています。私個人の場合で見ても、年金支給開始年齢は65歳で、定年退職後にのんびり悠々と生活することは不可能な話です。

今後も少子高齢化が進み、年金や退職金はますます厳しい状況になることが確実視されている状況ですが、若い共済組合員の中には、しっかりと将来を考えている方がたくさんいます。

何年前に開催したライフプランセミナーでは、主に50歳代の方を対象とした退職準備型だったにもかかわらず数名の若い女性の方が参加して、終了後に私に声をかけてくれました。「今度、若い人向けのライフプランセミナーをやってもえませんか。結婚や出産、子供の教育など、どれだけ資金が必要になるのか、資金運用についても勉強したいです」と…。



このような声を受け、当組合も2021年度、初めて若年層の共済組合員を対象としたライフプランセミナーを開催しました。コロナ禍の状況の中、平日にもかかわらず多くの方に参加していただき、アンケートにもうれしい感想をいただきました。

今後、地域社会ライフプラン協会にお願いしたいことは、家庭経済設計をメインに食生活や軽い体操など健康づくりに関する内容を組み合わせたライフプランセミナーを開催するためのサポートです。「人生100年時代」と言われる今、ライフプランの中に「健康寿命」ということを考える必要があり、若いうちから健康づくりを意識してもらうために、健康づくりをテーマとしたセミナーができる講師を派遣していただきたいと思います。講師派遣が無理であれば、テーマ、申込先、料金の目安などを示して講師の紹介をしていただけると大変ありがたいです。

これからも様々な年代の共済組合員の皆様のニーズに合ったライフプランセミナーを開催していくとともに、地域社会ライフプラン協会の事業支援の制度も活用させていただきたいと思いますので、よろしくお願いたします。

ライフプランセミナー について

SMART
TIMES

福井県市町村職員共済組合事務局長 高橋 めぐみ